

資料番号

総務 1

令和5年6月30日

課名 総務局県庁情報システム担当

担当者 担当課長 坂本

内線 2444

生成A I の活用に向けた試行について

1 要旨・目的

行政事務の効率化や県民サービスの向上を図るため、生成A I の活用について、庁内で試行を開始する。

2 現状・背景

- ・ 生成A I は、今後、様々な場面で活用されることが予想される一方で、情報漏洩や正確性の問題、著作権などの権利関係等について懸念されているところである。
- ・ このため、一定のセキュリティが確保された環境下において、試行的に生成A I を導入し、活用が可能な業務や使用方法等の検証を行う。

3 概要

(1) 試行導入する生成A I

Azure Open AI（日本マイクロソフト(株)）※利用するモデル：ChatGPT

(2) 対象者

各局（活用を希望する所属）及びDX審議官組織（計100所属程度）

(3) 実施が見込まれる業務

- ① 文章の生成（説明資料の作成、メールの返信文作成等）
- ② 情報の抽出（要約、表題の作成、キーワードの抽出等）
- ③ アイデア創出（テーマ・論点出し、企画の深堀等）
- ④ 問題作成（問い合わせ、FAQの作成等）

(4) 試行上の主なルール

- ・ 個人情報など機密性の高い情報は入力しない。
- ・ 原則、利用は内部資料に限ることとし、外部向けの資料等には使わないこと。
※試行に際して、入力方法等に関する職員向けの説明会を実施予定。

(5) スケジュール

試行期間：令和5年7月3日（月）～9月末まで

※10月以降の対応については、試行の状況を踏まえ検討する。

(6) 予算（単県）

2,250千円